

## 最近の管内経済概況

(2022年9月の経済指標を中心として)

～ 持ち直しの動きに弱さがみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱含みとなっている。
- 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、持ち直している。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、緩やかに持ち直しの動きがみられる。
- 企業倒産は、件数は増加、負債総額は減少した。

全体として、管内経済は、持ち直しの動きに弱さがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2022年11月17日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(2022年11月現在)

発表月	2022年6月	7月	8月(※)	9月(※)	10月	11月	前月との判断比較
総括判断	持ち直しの動きがみられる (↗)	持ち直しの動きに弱さがみられる (↘)	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	
生産活動	持ち直しの動きがみられる	弱含みとなっている (↘)	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱含みとなっている	
個人消費	一部に弱さが残るものの、 持ち直しの動きがみられる (↗)	一部に弱さが残るものの、 持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、 持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、 持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、 持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、 持ち直しの動きがみられる	
観光	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	緩やかに持ち直している (↗)	持ち直している(↗)	持ち直している	持ち直している	
公共工事	減少している(↘)	減少している	減少した	増加した(↗)	減少した(↘)	増加した(↗)	
住宅建設	弱まっている	弱い動きとなっている (↘)	弱い動きとなっている	一部に弱さが残るものの、 持ち直しの動きがみられる (↗)	一部に弱さが残るものの、 持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、 持ち直しの動きがみられる	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きが みられる(↗)	緩やかに持ち直しの動きが みられる	
企業倒産	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも増加した	件数は同数、負債総額は減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数は増加、負債総額は減少した	

上方修正 据え置き 下方修正

(※) 8月(6月指標)及び9月(7月指標)については、10月に発表。

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

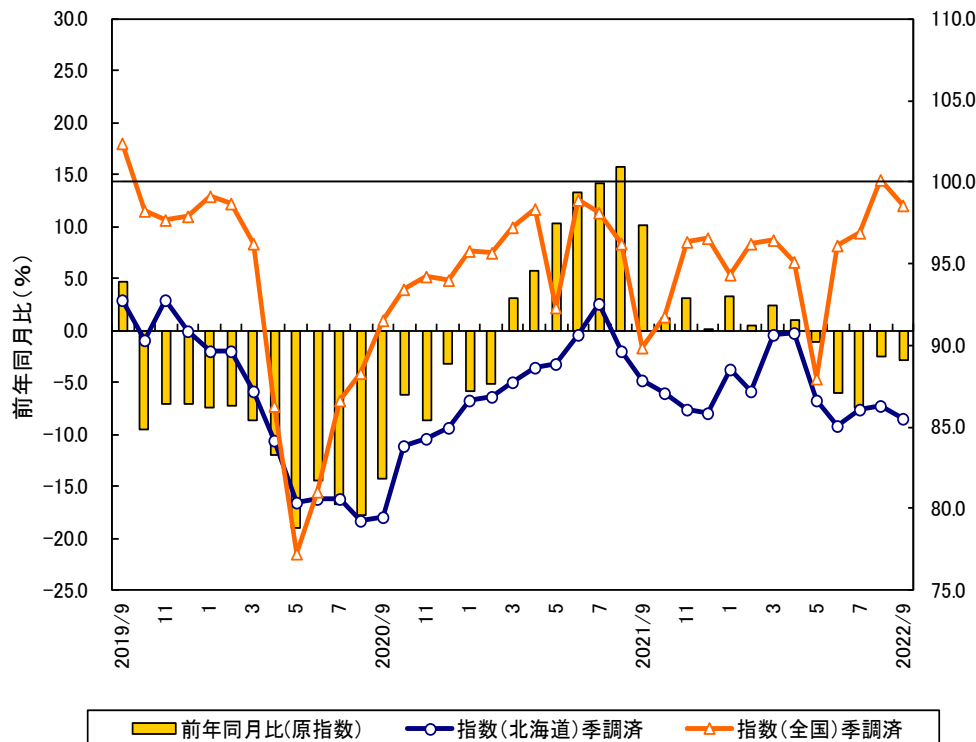
# 生産活動 ～ 弱含みとなっている ～

9月の鉱工業生産は、前月比▲0.9%と3か月ぶりに低下した。前年同月比は▲2.8%と5か月連続で低下した。低下業種は、電気機械工業など9業種となった。上昇業種は、パルプ・紙・紙加工品工業など6業種となった。

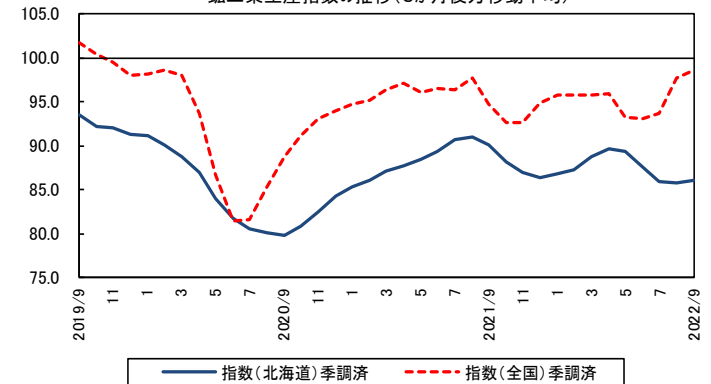
< 9月 >	
季節調整済指数	
北海道 (速報)	85.5 (前月比▲ 0.9%)
全国 (速報)	98.6 (前月比▲ 1.6%)

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
低下 9業種	電気機械工業	▲ 8.6	▲ 7.9	電子部品 橋りょう チーズ
	金属製品工業	▲ 7.8	▲ 19.3	
	食品工業	▲ 1.1	+ 0.2	
上昇 6業種	パルプ・紙・紙加工品工業	+ 4.6	▲ 1.7	板紙

鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



鉱工業生産指数の推移 (3か月後方移動平均)



(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

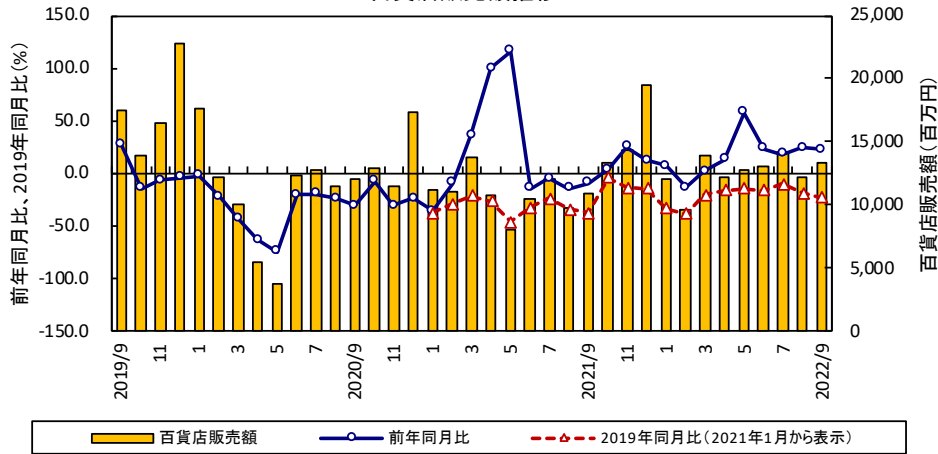
# 個人消費 ～一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる～

9月の個人消費は、家電大型専門店、ホームセンターは前年を下回ったものの、他の5業態は前年を上回った。

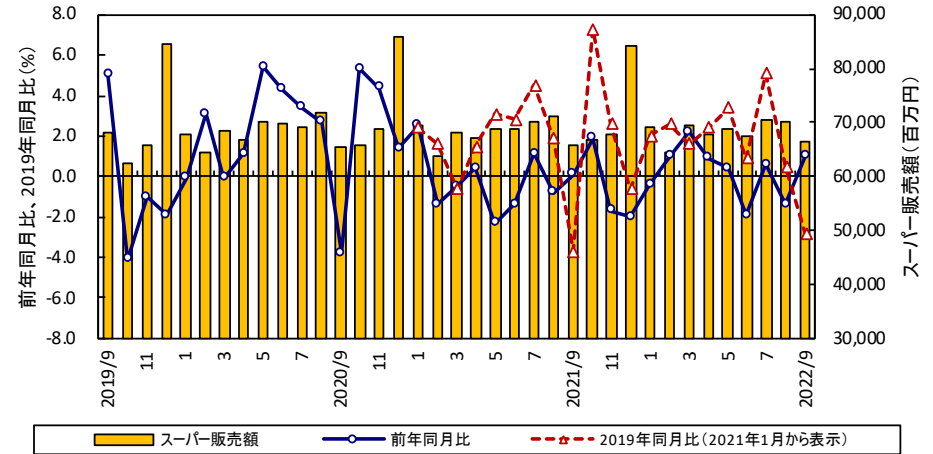
※2019年同月比は、北海道経済産業局「北海道百貨店・スーパー販売動向」掲載の販売額などから算出。

- ・百貨店は、全体的に売上げが好調で、前年同月比+22.6%（2019年同月比▲23.3%）と7か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、衣料品や飲食料品の売上げが好調で、同+1.0%（同▲2.8%）と2か月ぶりに前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+2.8%（同+3.5%）と11か月連続で前年を上回った。

百貨店販売額推移

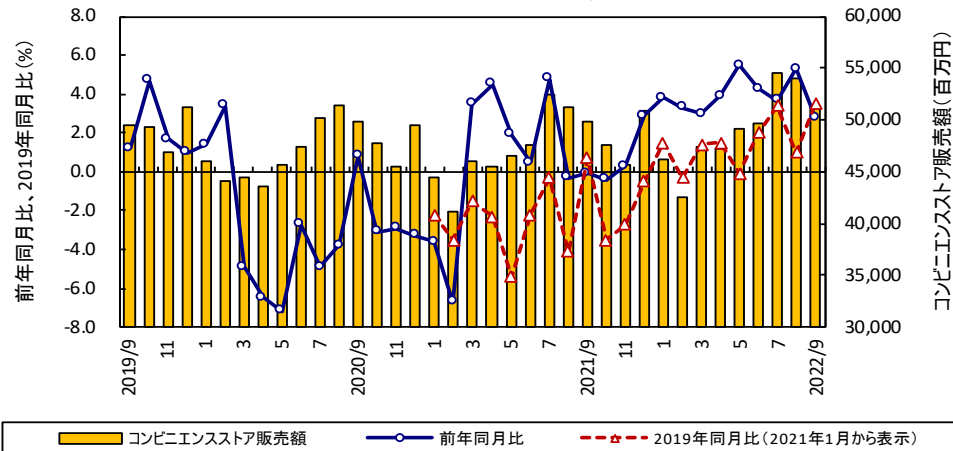


スーパー販売額推移



※2020年3月に対象事業所の見直しを行ったスーパーの2020年2月以前の販売額については、整合性を図るため調整済み。

コンビニエンスストア販売額推移

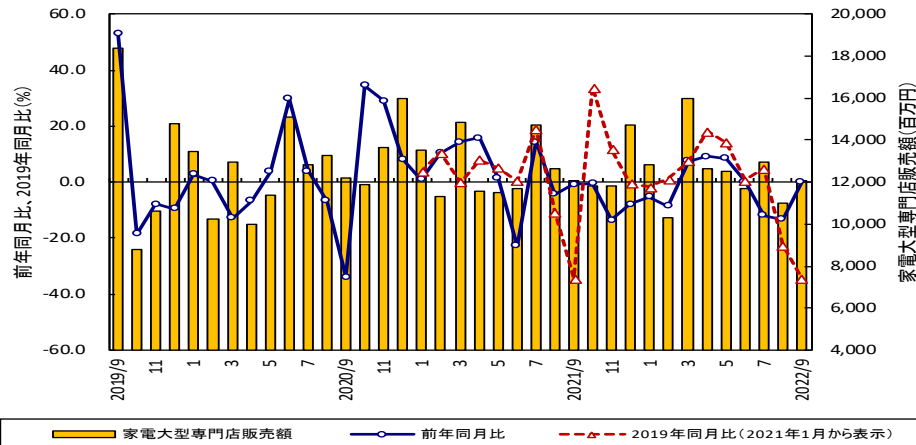


## 【ヒアリング内容】

- ・前年に緊急事態宣言が実施されていたことによる反動に加え、引き続き行動制限がないことから客数が増え、全体的に売上げが好調だった。催事も客足が伸び好調なほか、ブランド品などの高額商品は堅調に推移している。（百貨店）
- ・飲食料品は、惣菜の売上げが堅調なほか、ビールでは値上げ前の駆け込み需要がみられ、売上げが前年を上回った。旅行などの外向き消費が増えていることから、衣料品やスーツケースの売上げが好調だった。（スーパー）
- ・道外からの旅行客も多く人流が増加していることから、観光地や札幌市中心部の売上げが引き続き好調だった。晴れた日が多く気温も高かったことから、飲料やアイスの売上げが良かった。（コンビニエンスストア）

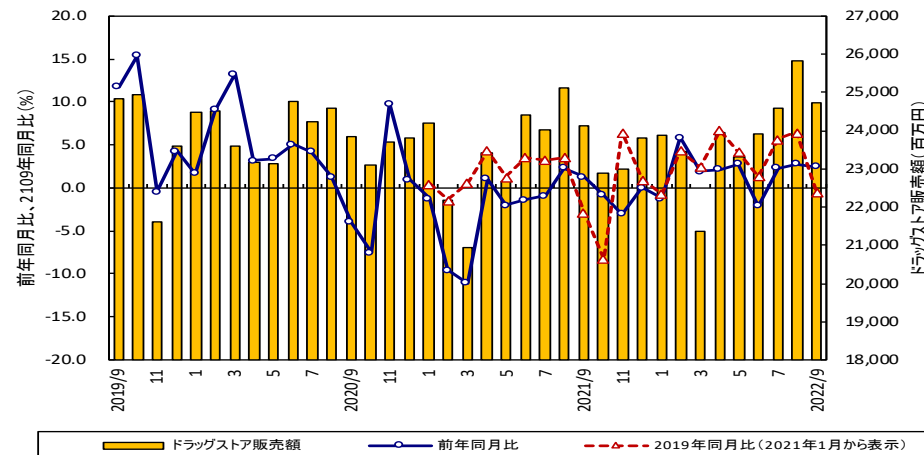
- ・家電大型専門店は、同▲0.1%（同▲34.4%）と3か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同+2.5%（同▲0.4%）と3か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲2.8%（同▲16.1%）と5か月連続で前年を下回った。
- ・新車販売は、同+31.9%（同▲27.6%）と15か月ぶりに前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



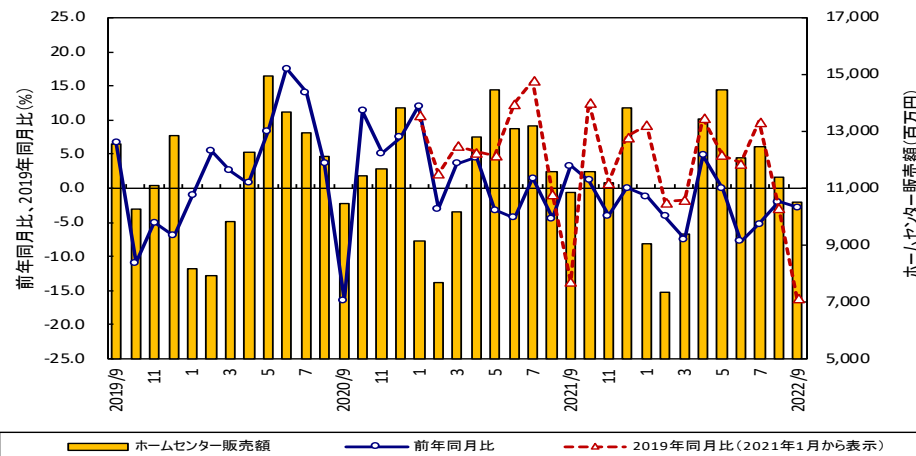
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

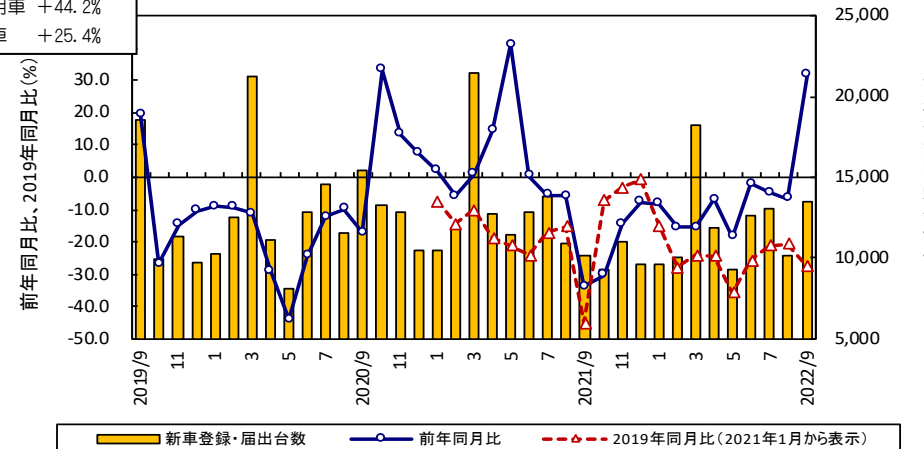
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

<9月>  
 普通乗用車 +29.4%  
 小型乗用車 +44.2%  
 軽自動車 +25.4%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

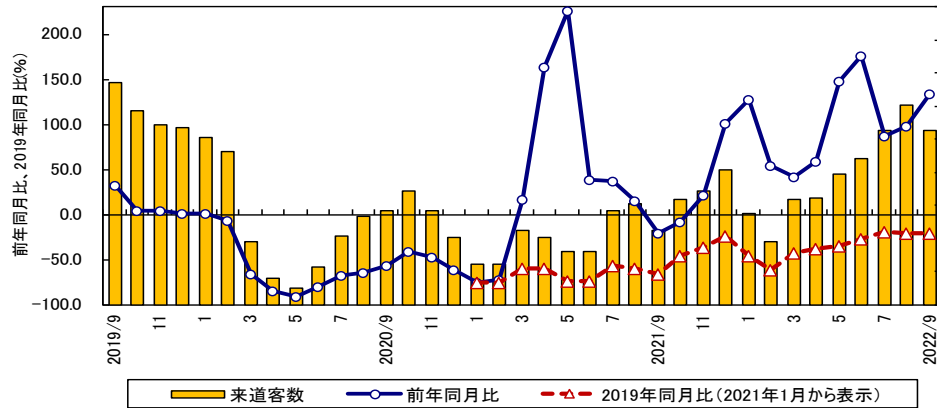
- ・スマートフォンは9月に発売された新機種の単価上昇により売上げが増加した。洗濯機や冷蔵庫は買い換え需要が堅調で売上げが伸びたものの、前年好調だったエアコンで反動減がみられた。（家電大型専門店）
- ・晴れた日が多く、行動制限がなかったことから外出機会が増加し、化粧品や日焼け止めの売上げが好調だった。（ドラッグストア）
- ・旅行などの外向き消費が増えているほか、物価高により節約志向が高まっているためか、客数が減少している。（ホームセンター）

# 観光 ～ 持ち直している ～

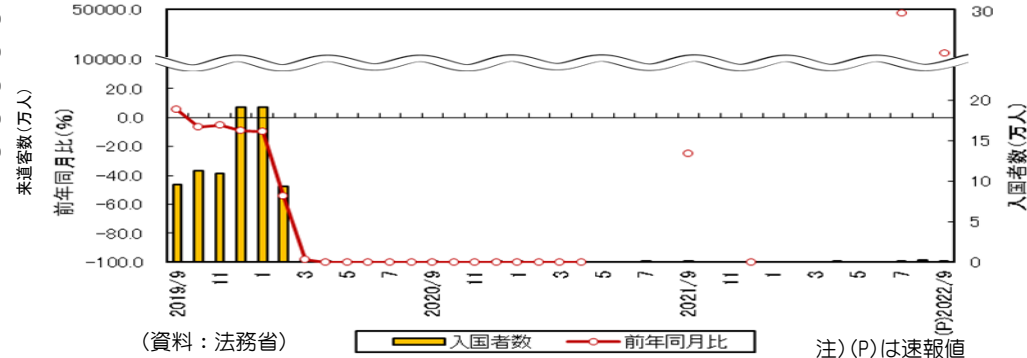
9月の来道客数は、前年同月比+134.1%（2019年同月比▲21.6%）と11か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、448人（前年同月差+445人）であった。

< 9月 >  
入国者数 448人 (+14833.3%)

来道客数推移



道内外国人入国者数



< 9月 > 来道客数 1,053,002人 (+134.1%)  
※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。  
※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

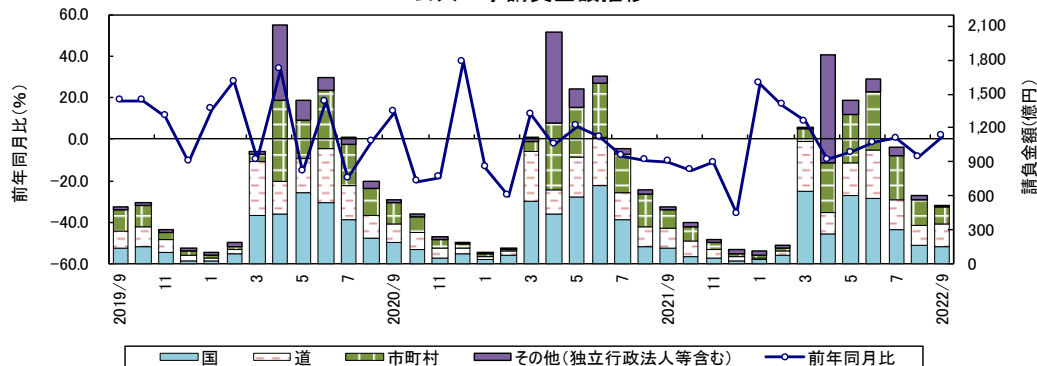
## 【ヒアリング内容】

・9月も引き続き道内外からの観光客数は好調で、シルバーウィークや週末を中心に満室となる宿泊施設が多かったものの、外国人観光客はあまりみられなかった。10月は、国の全国旅行支援が開始され、温泉地を中心に国内客の宿泊予約は好調。また、香港や台湾などアジア圏からの観光客が散見されるようになった。宿泊予約の問い合わせも増えてきているので、今後に期待したい。（観光協会）

# 公共工事 ～ 増加した ～

9月の公共工事請負金額は、市町村は前年を下回ったが、国、道が前年を上回り、前年同月比+1.5%と2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額推移



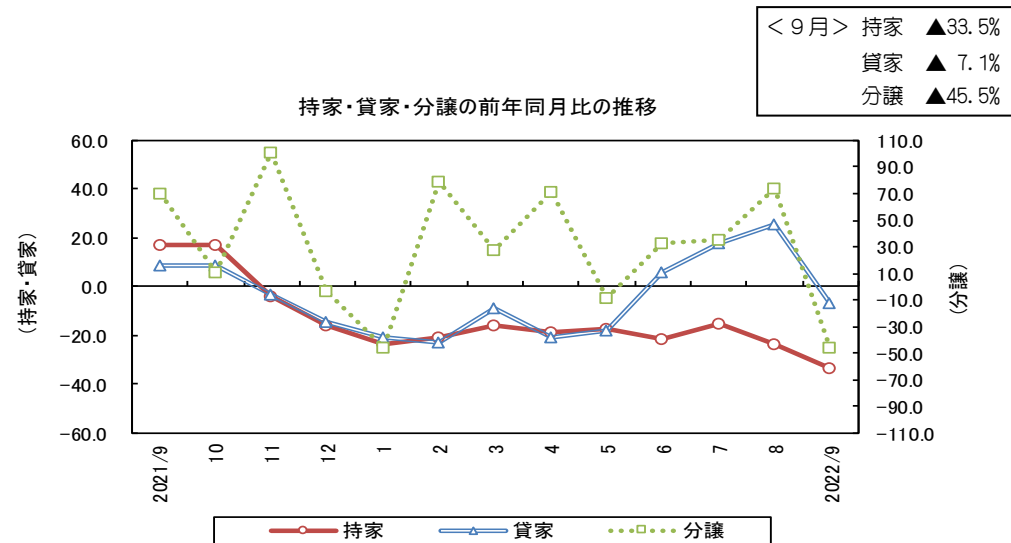
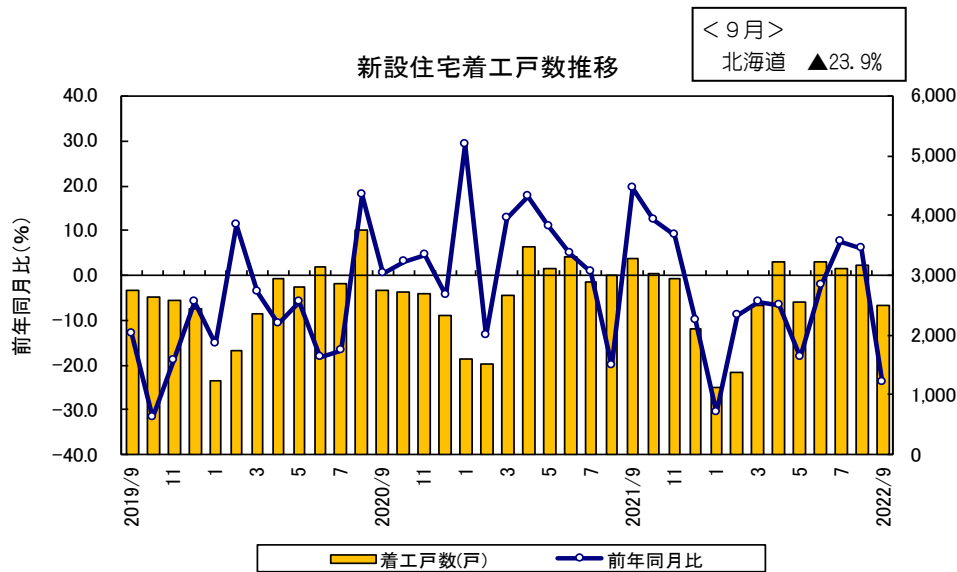
< 9月 >  
北海道 + 1.5%  
(内訳)  
国 + 9.2% 道 + 19.4% 市町村 ▲16.5% その他 ▲38.7%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

9月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲の全てで前年を下回り、前年同月比▲23.9%と3か月ぶりに前年を下回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 増加している ～

2022年度の設備投資計画は、全体で前年度比+12.8%と3年ぶりに前年度を上回る計画となっている。

## 日銀短観の設備投資動向

2022年10月3日発表

	2021年度	2022年度
北海道	▲ 5.5%	+ 12.8%
製造業	▲ 37.0%	+ 42.3%
非製造業	+ 13.2%	+ 3.6%
全国	▲ 0.8%	+ 16.4%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

## 法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2022年9月13日発表

	2021年度	2022年度
全産業	▲ 19.5%	+ 34.3%
製造業	▲ 19.2%	+ 43.1%
非製造業	▲ 19.6%	+ 32.1%

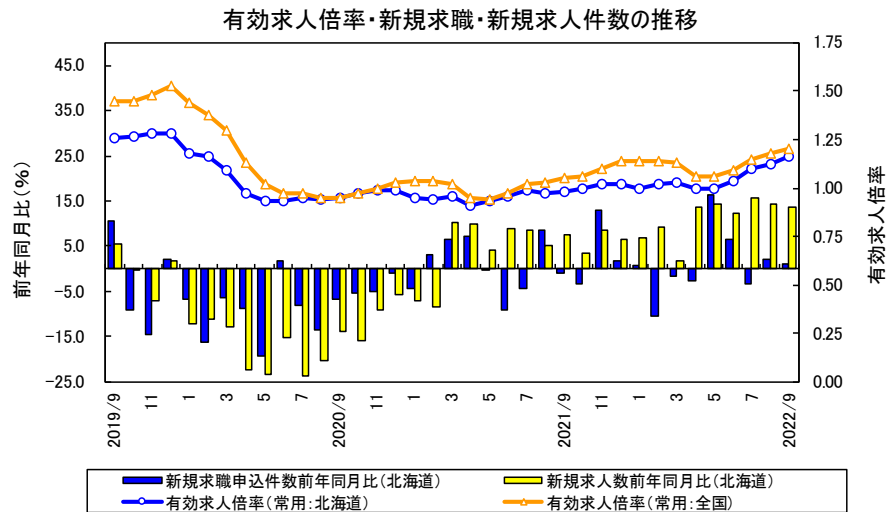
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ～ 緩やかに持ち直しの動きがみられる ～

9月の有効求人倍率は、1.16倍と前年同月差0.18ポイント上昇し、16か月連続で前年を上回った。

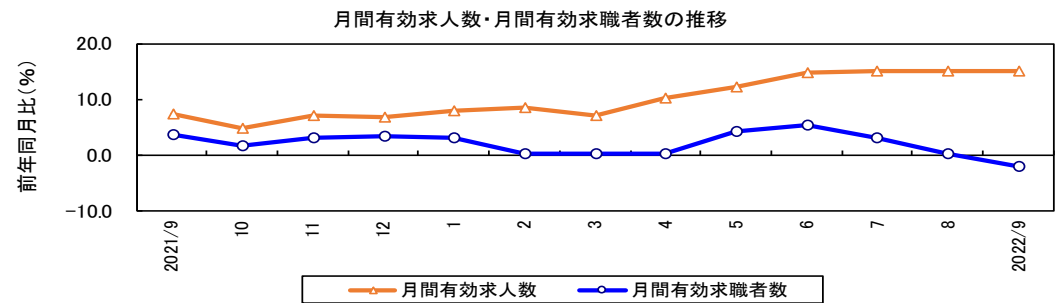


< 9月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	1.16倍
	新規求人件数(前年同月比)	+13.6%
	新規求職申込件数(前年同月比)	+1.0%
全国	有効求人倍率(常用)	1.20倍

< 9月 >

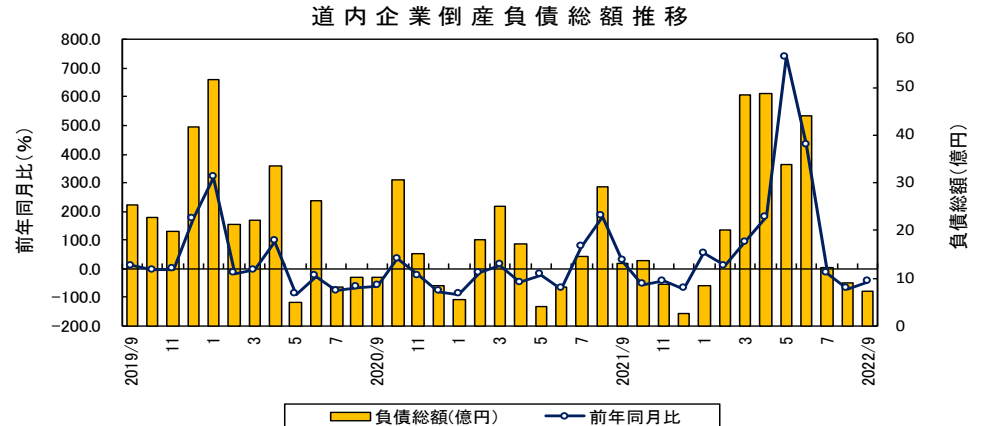
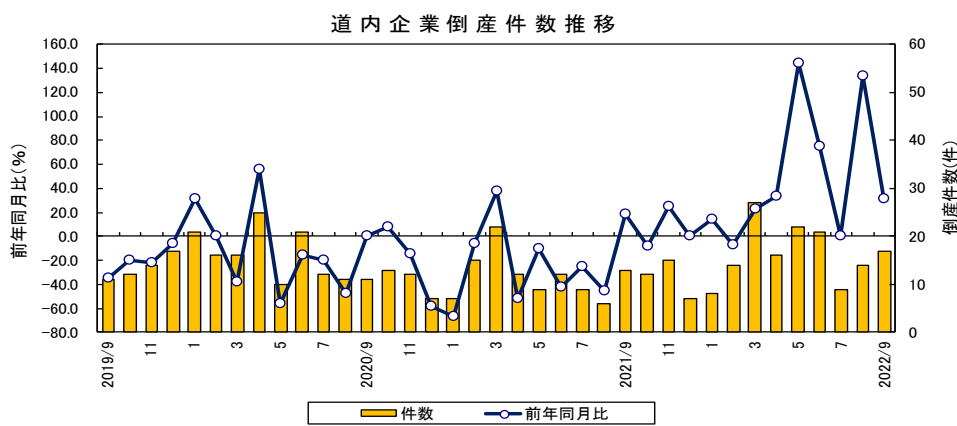
月間有効求人数	(前年同月比)	+15.2%
月間有効求職者数	(前年同月比)	▲2.0%



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数は増加、負債総額は減少した ～

9月の倒産件数は17件で、前年同月比+30.8%（4件増）と2か月連続で前年を上回った。また、負債総額は7.3億円で、同▲44.9%と3か月連続で前年を下回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)